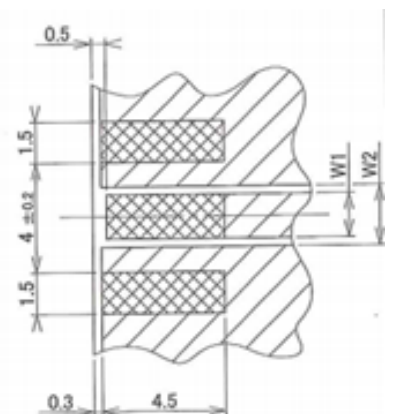
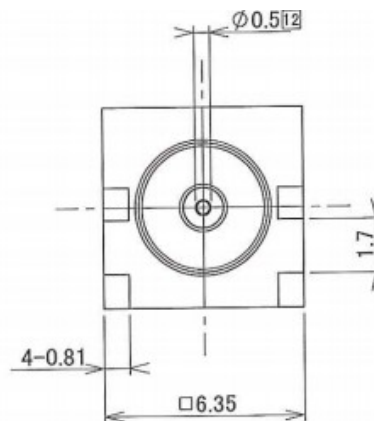
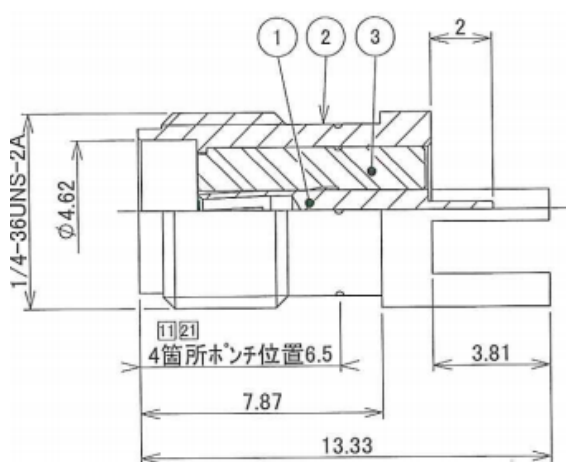
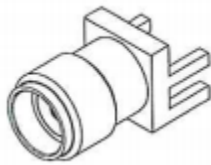


UNICRAFT© **OPUSER V**

ライブラリ 基板エッジ実装コネクタ作成資料

下の様な基板エッジ実装用、同軸コネクタの部品作成資料です。部品作成には併せて他の資料『OPUSER V 部品作成』を参照ください。



[1.0 : シンボル作成](#)

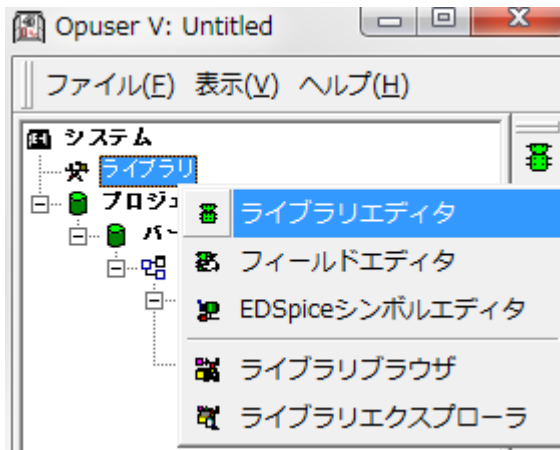
[2.0 : パッドスタック作成](#)

[3.0 : パッケージ作成](#)

[4.0 : 部品登録](#)

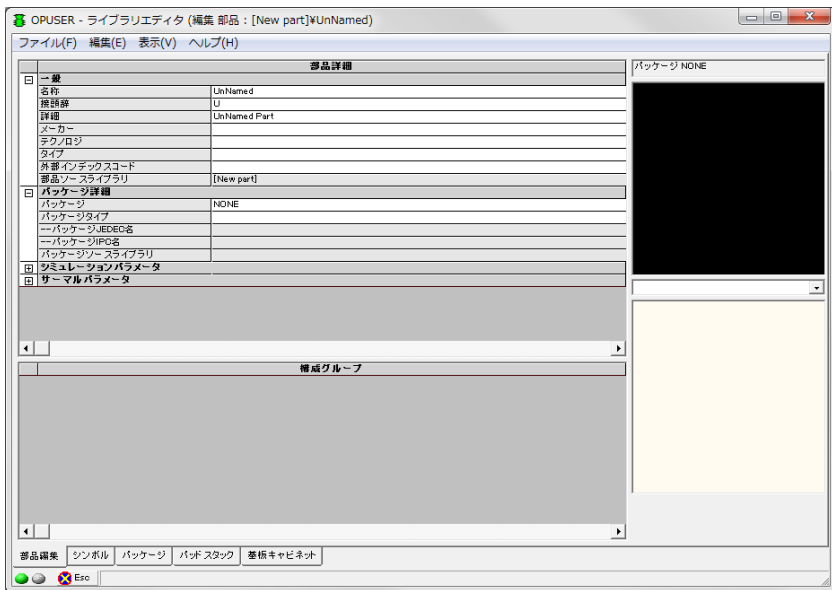
[5.0 : 配線手順について](#)

基板エッジ実装コネクタ作成



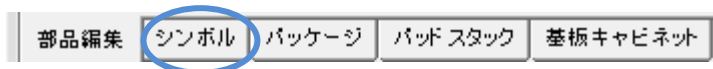
プロジェクトエクスプローラーからライブラリを選択

右クリックメニューからライブラリエディタを開きます。

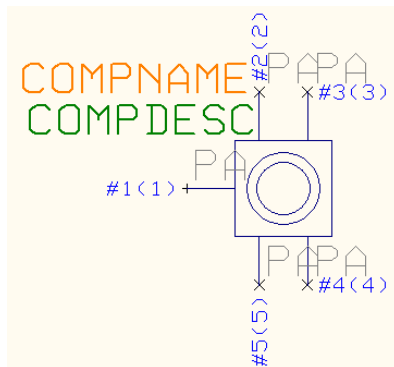


名称、接頭辞を入力します。

1.0 : シンボル作成



画面下をシンボルタブをクリックしてシンボルを作成します。

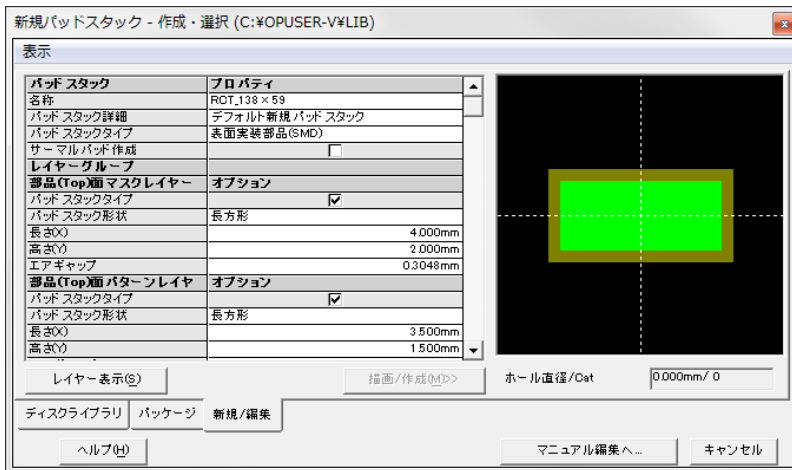


作成は他の資料『OPUER-V 部品作成』を参照ください。

2.0 : パッドスタック作成



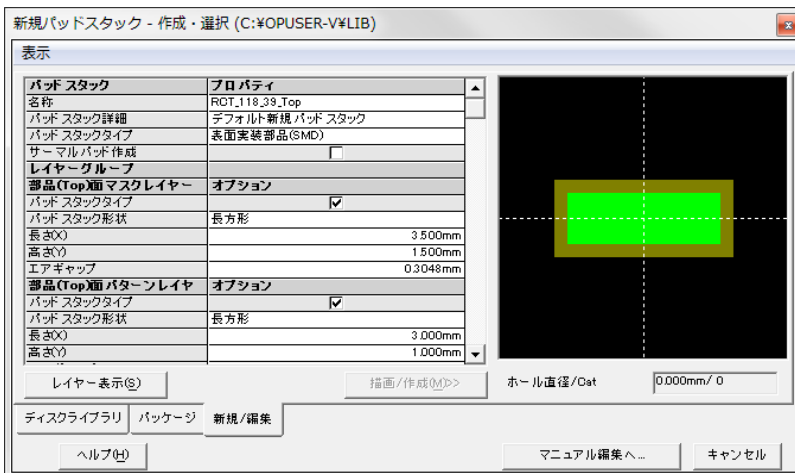
次にパッドスタックを作成します。
画面下パッドスタックタブをクリックします。
下記3種類のパッドスタックを作成します。



- 部品面真ん中のパッドスタック
パッドスタックタイプ : 表面実装部品 (SMD)
部品面マスクサイズ : 4mm × 2mm
部品面パターンサイズ : 3.5mm × 1.5mm

内層レイヤ : 無し

半田面パターン/マスク : 無し

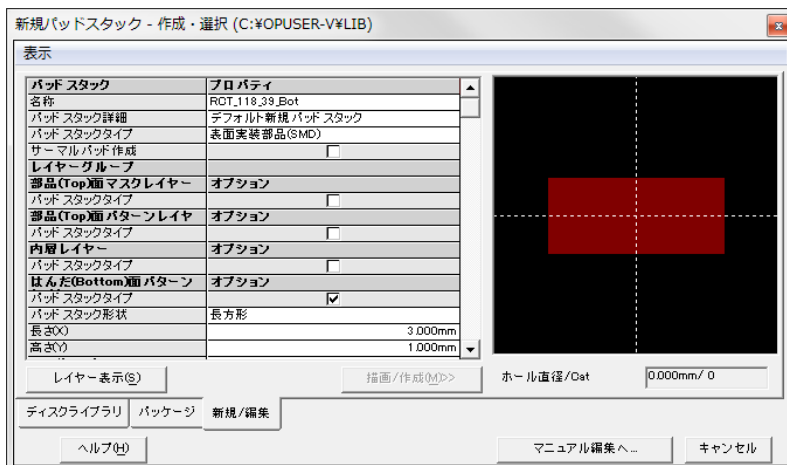


- 部品面両側のパッドスタック
パッドスタックタイプ : 表面実装部品 (SMD)
部品面マスクサイズ : 3.5mm × 1.5mm

部品面パターンサイズ : 3.0mm × 1.0mm

内層レイヤ : 無し

半田面パターン/マスク : 無し



- 半田面パッドスタック
パッドスタックタイプ : 表面実装部品 (SMD)
半田面マスクサイズ : 3.5mm × 1.5mm

半田面パターンサイズ : 3.0mm × 1.0mm

内層レイヤ : 無し

部品面パターン/マスク : 無し

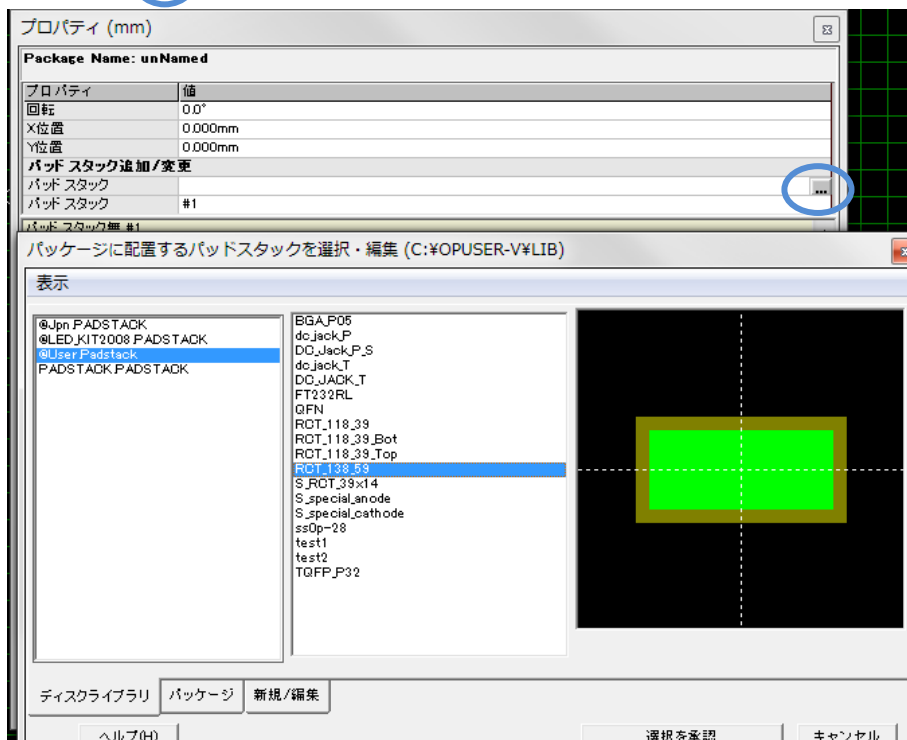
3.0 : パッケージ作成



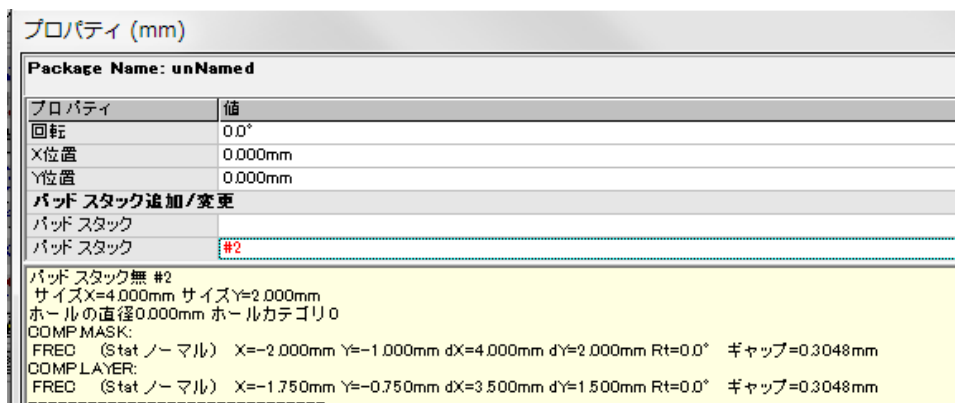
次にパッケージを作成します。
画面下パッケージタブをクリックします。



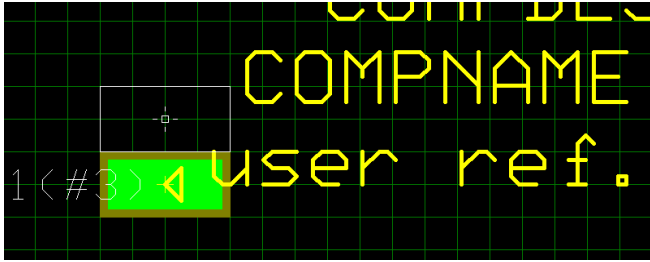
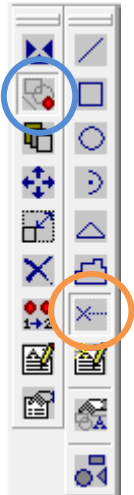
パッドスタックを配置します。
ファンクションツールからプロパティを選択し、パッドスタックを選択します。



プロパティ画面、パッドスタックの項目上をクリックし、右に表示されるボタンをクリック、作成したパッドスタック(部品面真ん中のパッドスタック)を選択します。



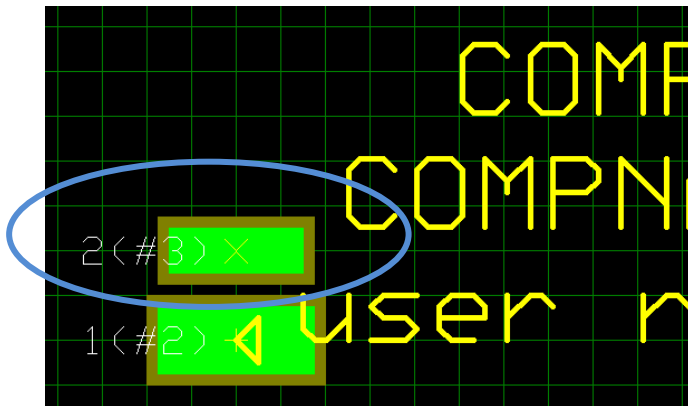
下のパッドスタックをクリックして追加されたパッドスタック(#2)を選択します。



次にパッドスタックを追加します。

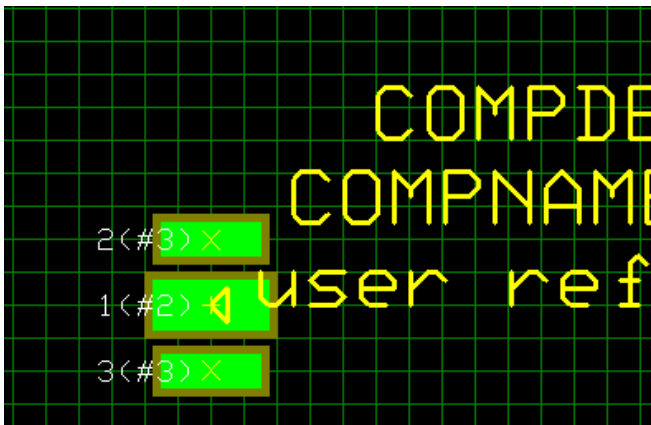
ファンクションツールからグラフィックアイテム作成、オプションツールからパッド作成を選択します。

クリックしてパッドを追加します。



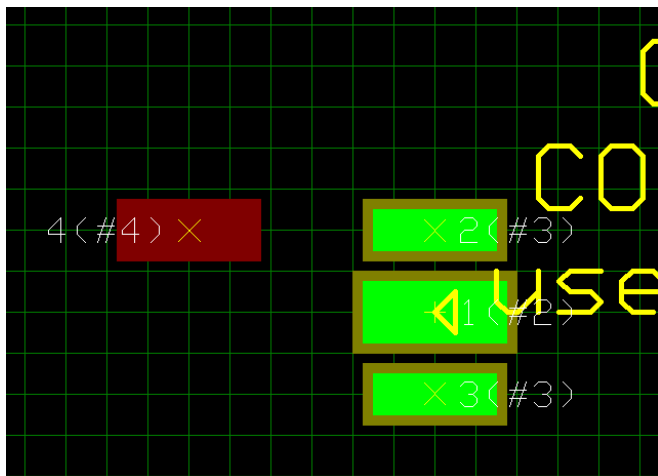
追加したパッドを先ほど同様にパッドをプロパティから変更します。

部品面両側のパッドスタックへ変更(#3)します。



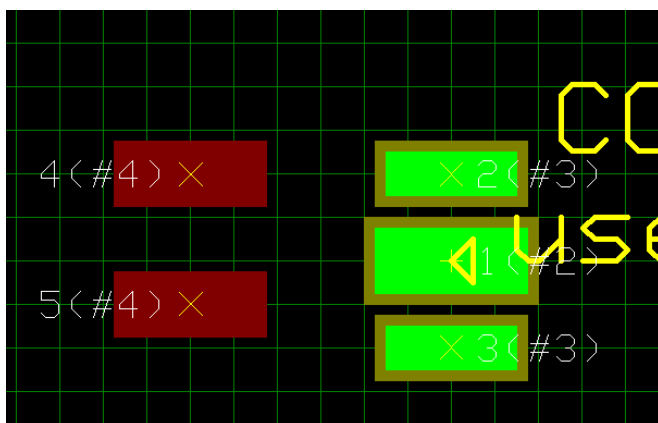
次に下側のパッドスタックを追加します。

基板エッジ実装コネクタ作成

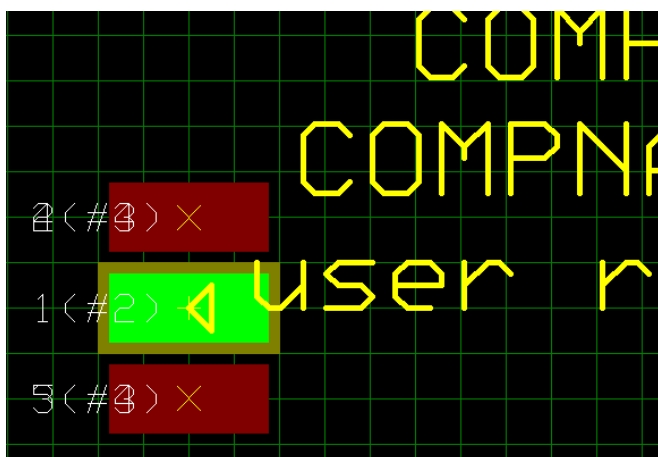


半田面のパッドスタックを配置します。

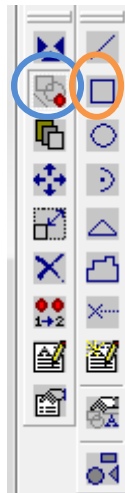
パッド作成からパッドスタックを配置し、半田面パッドスタックへプロパティから変更します。



パッド作成をクリックしてもう一つの半田面パッドスタックを配置します。



ファンクションツールから移動/回転をクリックして半田面パッドスタックを移動します。



部品外形線を作成します。レイヤから COMP.PRINT を選択します。



ファンクションツールからグラフィックアイテム作成をクリック、オプションツールから長方形の作成を選択します。

左下をクリック、右上をクリックして適当な長方形を作成します。



CTRL + クリックでデータを選択、右クリックメニューからプロパティ/パッケージアイテムを選択します。

プロパティ画面より下記を入力します。

開始 X : -4.0mm
 開始 Y : -4.0mm
 サイズ : 2.0mm
 サイズ : 8.0mm

作成後、プロパティを閉じ、ESC キーを押して選択を解除します。



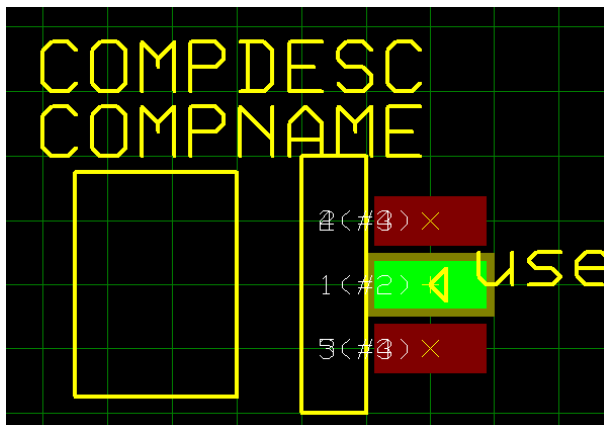
同様に外形線を作成します。

適当な長方形を作成し、作成後、CTRL + クリックでデータを選択、右クリックメニューからプロパティ/パッケージアイテムを選択します。

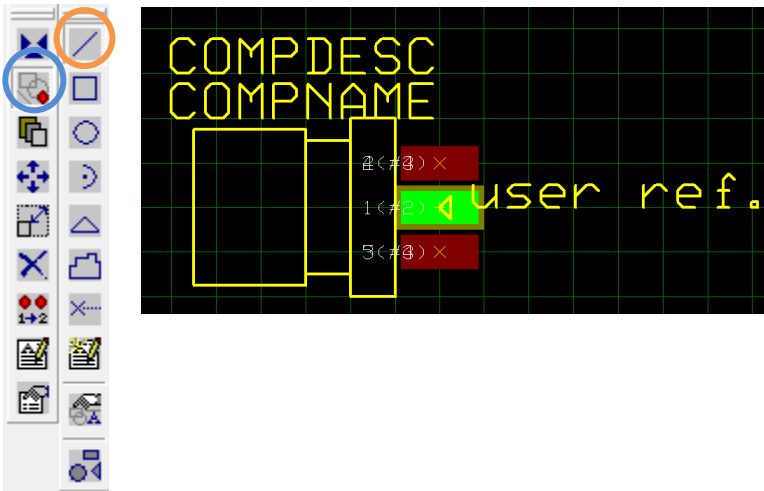
プロパティ画面より下記を入力します。

開始 X : -11.0mm
 開始 Y : -3.5mm
 サイズ : 5.0mm
 サイズ : 7.0mm

作成後、プロパティを閉じ、ESC キーを押して選択を解除します。



基板エッジ実装コネクタ作成

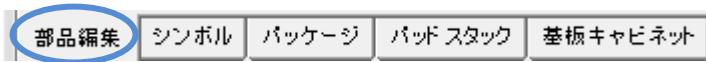


ファンクションツールからグラフィックアイテム作成、オプションツールから線の作成を選択します。

線を作成します。

名前を付けて保存します。

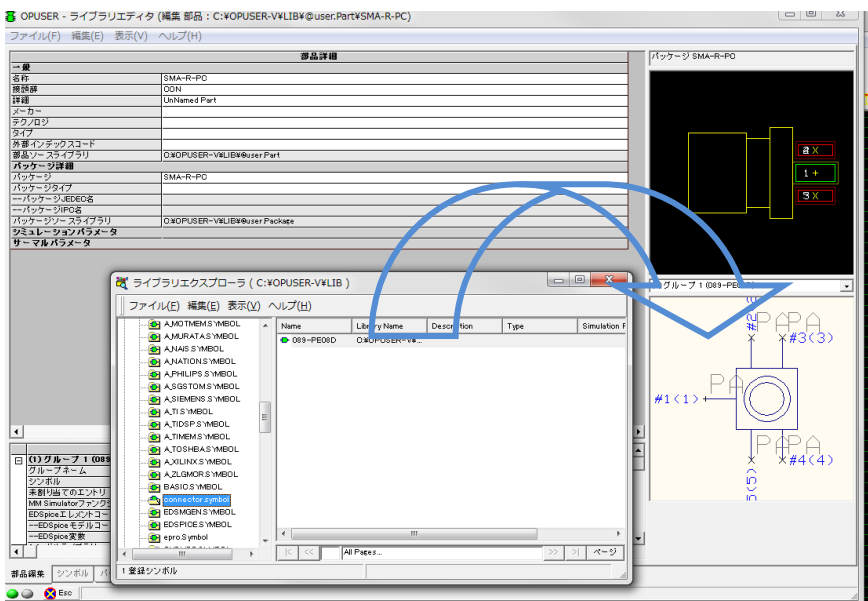
4.0 : 部品登録



次に部品のピン割り当て、登録を行います。

画面下部部品編集タブをクリックします。

ファイルからライブラリエクスプローラー表示を選択し、作成したシンボル、パッケージを右のウィンドウへドラッグします。

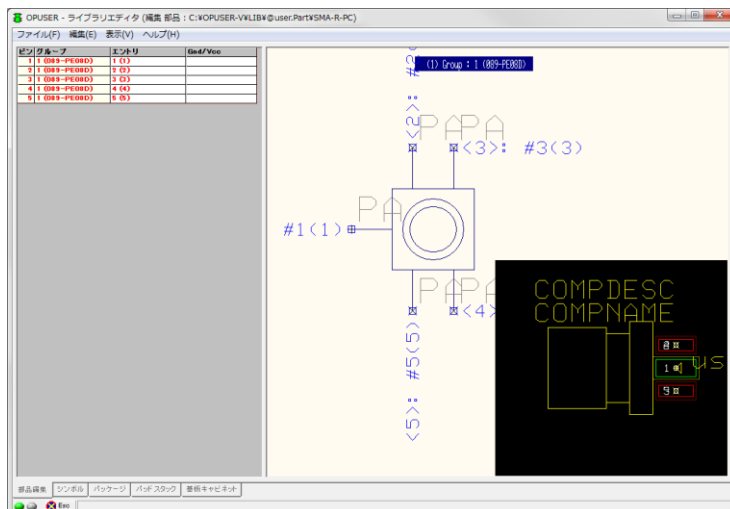


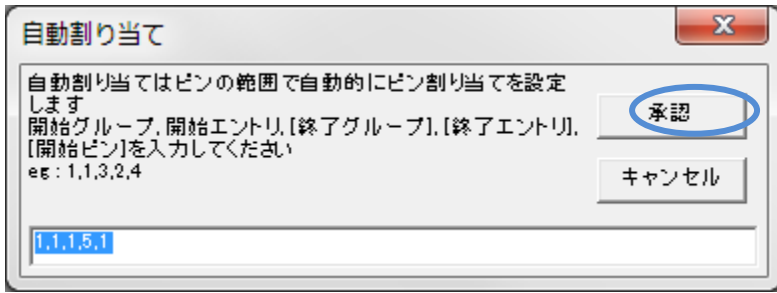
ピンアサインを行います。

メニュー編集からピンアウト編集を選択します。

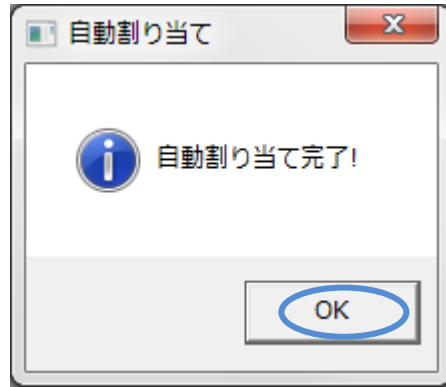
メニュー編集からパッケージウィンドウを表示を選択します。

メニュー編集から自動割り当てを選択します。



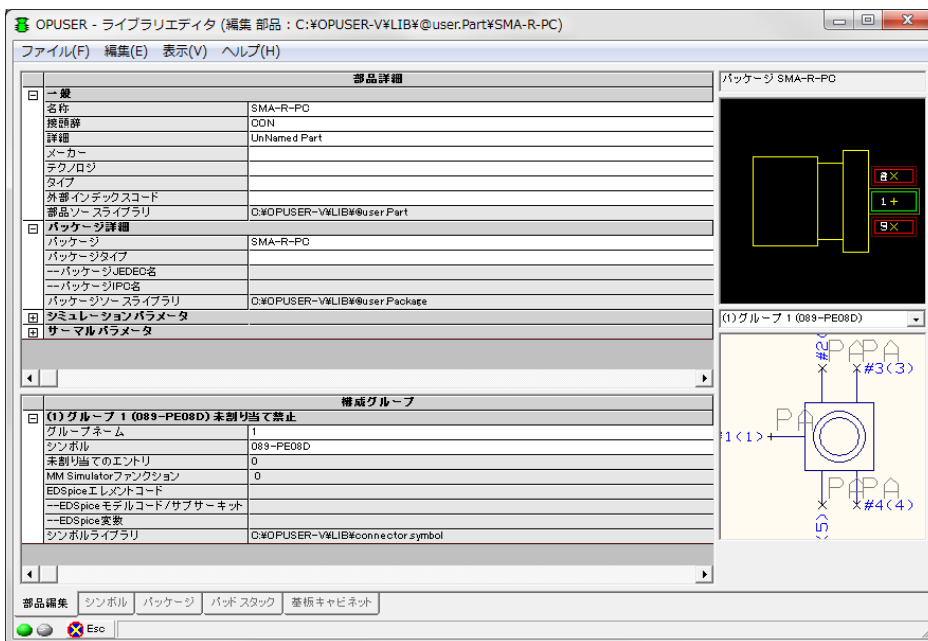


開始グループ、開始エントリ、終了グループ、終了エントリを入力します。承認をクリックします。



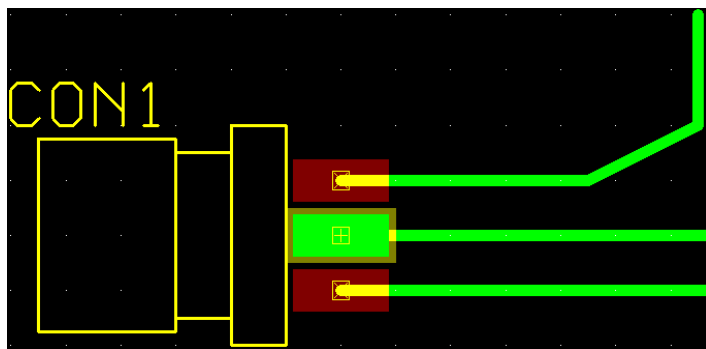
割当てが完了します。OK をクリックします。

編集から部品詳細へ戻るを選択します。



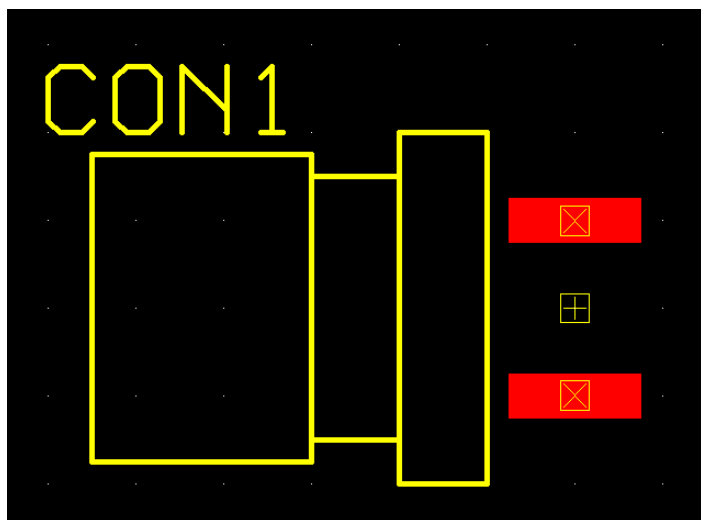
メニューファイルから保存 部品 名前を付けるから保存します。

5.0 : 配線手順について

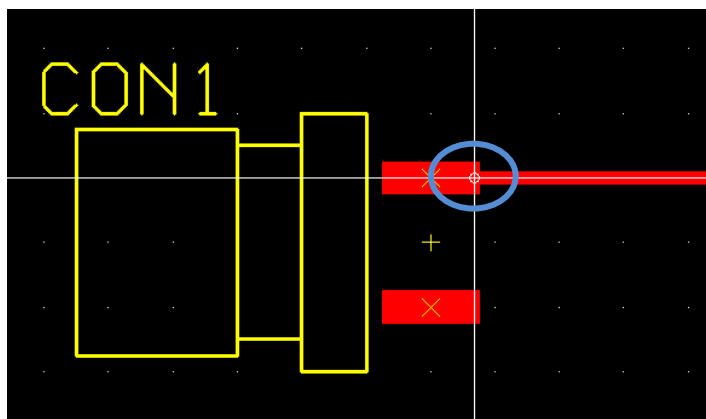


配線は次のよう様に行います。

部品面の配線は通常通り行います。



部品外形線、半田面以外のレイヤを非表示にします。



半田面の配線は、パッドが部品面のパッドと重なっている為、ランドの端を Shift + クリックで選択します。

ピンへ配線がされます。

